

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科) 令和元年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			教養	自動車業界の仕事について知識を得る。社会人としての礼儀・マナー、時間活用・コスト意識、ビジネス文書作成、コンプライアンス及び自動車関連企業視察を行う。	1後・2通	45		○			○		○		
○			自動車工学	自動車の成り立ち、材料、エンジン、シャシ、電装の構造や役割、作動、機能、自動車力学、ハイブリッド等の新技術について理解する。	1通・2通	384		○		△	○	○	○		○
○			自動車整備	エンジン、シャシ、電装品について、整備法、点検方法及び故障探究法を学ぶ。	2通	208		○			○		○		
○			機器構造・取扱	整備の基礎知識を理解し、整備士としての仕事を通しての心構えと社会との関係を学ぶ。工具、計測器、機器類の目的・機能と使用方法を学ぶ。検査用機械装置の構造・機能・使用目的・取扱方法を理解する。	1前・2後	40		○			○		○		
○			自動車検査	道路運送車両法の検査の流れ、基準、考え方について学ぶ。	1後	24		○			○		○		
○			自動車法規	自動車整備士と関係法令との関連を習得し、道路運送車両法、保安基準、保安基準の細目を定める告示、自動車の点検基準、道路運送車両法の保安基準、自動車Nox・PM法を理解する。	1後・2通	41		○			○		○		
		○	選択科目(2輪)	二輪自動車の歴史から、現代にいたる新材料や新技術の基本となる構造を理解する	1前・2通	20		○			○		○		
○			工作作業	ガス溶接を学習することにより安全作業を心掛けられるようにする。ボルトナットを切ることによりねじの仕組みを理解する。	1前	24					○	○		○	
○			測定作業	ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、シクネスゲージ、プラスチックゲージ、シリンダゲージ、サーキットテスタの取り扱い、読み取り方法を理解する。各測定機器及び測定物の名称を覚える。	1前	48					○	○		○	
○			自動車整備作業	エンジン、シャシ、電装それぞれについて、分解／組付け作業を通じて構造や作動を理解し名称を覚える。交換作業・調整作業を習得する。	1通・2通	1194					○	○		○	
合計				科目							単位時間(		単位)		

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1 学年の学期区分	期
		1 学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科) 令和元年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			自動車検査作業	車検整備及び整備に伴う多頻度作業の修得、完成検査手順の修得と道路運送車両法の保安基準に照らした保安基準適合性の確認を行う。	2後	60				○	○		○		
		○	選択科目(2輪)	二輪自動車の分解・組付けから、正確な作業と仕組みや原理を習得する。完成車両の試運転と燃費の計測を行う。	1前・2通	40				○	○		○		
合計					1 2 科目	2 1 2 8 単位時間(							単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
規定の出席数を満たし、試験点数100点で70点以上を合格とする。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	26週

**(留意事項)**

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。